



香月チエミ

公共工事の 業務の最低賃金保障を

市長

現在の最低制限価格制度を
見直し、活用する

問 市が行う建設工事及び業務委託について通常、予定価格の8割くらいが妥当とされる落札率が高止まり傾向の理由は。又、予定価格は公共工事設計労務単価が積算されているが、下請け、孫請けの賃金が正当に支払われているか。

答 (副市長) 契約課と各担当課の業務分担について引続き検討中。

問 契約課の一元化に向けて組織改編は。

能することで、ダンピング防止、品質確保、下請け業者へのシワ寄せの抑制につながると思う。課題もあり見直していく。

答 (建設部長) 24年度建設工事の指名競争入札、114件、落札率92・25%。条件付一般競争入札、4件、同94・09%。建設工事で最低制限価格を設定したものは、予定価格の90%を最低制限ラインとしているため。市として賃金の正当な流れは把握していない。

問 公共工事の業務の賃金がしっかり保障される仕組みづくりのために公契約条例の検討を。

答 (市長) 現在の最低制限価格制度がしっかり機

能する



▲建設工事の労務賃金の保障を



江島佐知子

業者選定に 不正はなかったか

市長

調査の結果、
違法性はないと判断

問 ①市民交流プラザの設計業者は、増収賄事件があった大町町小中一貫校改築工

事の業者と同じだが、小城市での業者選定に不正はなかったか。
②今後の不正防止の対応。

答 (市長) ①調査したが、逮捕された仲介業者が関与した事実はなく、弁護士とも相談し、違法性はないと判断した。②プロ

ボーザルの仕組みを見直すなど内部で検討していく。



▲信号機の設置が望まれる小城駅前三叉路

小城市前は信号機設置で安全確保を

問 ①通学路の安全対策の現状は。②小城駅前については中心市街地活性化事業の中でも危険性が指摘されている。整備に合わせて信号機を設置すべきでは。

答 (市長) ①平成24年8月に実施した通学路緊急合同点検で14か所を危険箇所と指摘。安全対策は2か所は完了、7か所は着手している。残りは公安委員会、国に要望している。②地元、警察と協議しながら、必要であれば要望していく。



岸川 英樹

3期目の 市政運営の考え方は。

市長

さらに住みよいまちづくりを
推進していく。

問

①土地利用方針は。
②歴史と文化の資源
活用について。③市の基
幹産業の農業について。
④T P P参加による市内
の影響額は。⑤アイル津
の里温泉と周辺の整備と
は。

答

(市長) ①中心性の
高い市街地4か所と
定住を推進する9か所
について整備優先度の検討
を行い具体的に調査検討
を行っていききたい。②小
城初代藩主から2代目、
3代目までと柳生新陰流
とのつながりが深い、古
文書と兵法書が質、量、
大変な史料があり観光資
源として利用できればい
いと思う。③付加価値を

つけて販路拡大、特産品

の開発には、農業の6次
産業化を視野に入れ勉強
会を含めてやっている状
況です。④小城市内の主
要農産物の米では約9億
3千万円程度、麦で3億
2千万円程度、

牛肉や豚肉で2
億2千万円減少
予想、水産業の
ノリは扱う国は
ないので現時点
では影響なし、
対策として県や
J Aと連携し、
重要品目を国に
対し安心して農
業を続けられる
よう対策を求め
ていく。⑤一つ
の目標として、

温泉とスポーツと医療を
連携した拠点づくりの考
えを持っている。

その他の質問

○市民病院の経営改善の
考え方について。



▲開発が待たれる芦刈地区



諸泉 定次

ごみ減量化に 地域奨励金の導入を

市長

地域で分別する方法を
勉強する必要がある

問

ごみの減量化では、
福岡の春日市では古
紙や空き缶、ペットボト
ルなど資源物を、それぞ
れの集落で業者と契約
し、重量の証明書を書い
てもらって市役所に提出
すると奨励金として還付
される。これが定着し住
民でごみ分別意識が高く
なる。後始末も自分たち
で管理する。3つ目は奨
励金が集落の資金とな
り、一生懸命やる。まさ
に一石三鳥の効果があ
る。奨励金制度を導入す
る考えはあるのか。

答

(市長) ごみ減量化
では、生ごみでどこ
の自治体でも頭を痛めて
いる。資源物では小城市

は週一回の回収と小城と
牛津で障がい者団体に委
託している。今後は、地
域の皆さんが分別する。

これを習慣にさせる。小
城市も方法論を確立し、
説明する。ごみ処理には
お金がかかって
いることを説明
し、協力をいた
だくことが必
要。回収費が高
くつき、ペイし
てないのが小城
市の現状。地域
でうまくやれる
方法があれば勉
強する必要があ
る。

その他の質問

○市役所の効率的で効果
的な機構改革について
○住吉町のマンション建
設での中高層建築物の
条例化



▲古紙などの資源物の分別作業風景



▲集約で苦情がいったいの回収ボックス

問 廃食油回収場所が4月から本庁舎に変更され、交通弱者等住民サービスの低下を招いている。各町の公民館等に回収場所を検討すべきではないか。変更後の不便

答 (市長) 経過は、本庁舎移行後、旧庁舎が無人化になり、火災、油流失等の管理問題で本庁舎へ一本化した。このことで20件程度の苦情、要望があり、車を運転できない者はどうすればいいかが寄せられているので今後回収場所の検討をする。

油流失等の管理問題で本庁舎へ一本化した。このことで20件程度の苦情、要望があり、車を運転できない者はどうすればいいかが寄せられているので今後回収場所の検討をする。

問 火災発生件数は、5月末に昨年の実績7件に達し、消防団員の確保に苦慮するありさまで地域消防力の低下が懸念されるが、消防水利整備と基本施設はなにか。また、佐賀県固有のクリークの多面的機能を有効的に使うことができないか。

答 (総務課長) 消火栓604カ所・防火水槽118カ所・自然水利123カ所で、自然水利と比較すると消火栓は、ホースをつなげばポンプを持ってこなくても初期消火活動の迅速な対応ができ、消火栓を基本的に整備を進めていく。



岸川 弘文

廃食油回収は、旧町単位でせよ

市長

今後の回収場所は、検討する



深川 高志

津の里温泉を資源として磨くとは

市長

アイル、津の里温泉とその周辺整備である

問 市長は、3期目の所信表明において、小城市はすばらしい資源がいろいろあるが、まずはある一つの資源を磨くと言われ、それはアイル、津の里温泉とその周辺の環境整備であると明言された。さらには、このエリアをスポーツ、医療、そして温泉と連携し、佐賀県、あるいは小城市のスポーツの拠点として特色あるまちづくりを考えたい。さらには、このエリアをスポーツ、医療、そして温泉と連携し、佐賀県、あるいは小城市のスポーツの拠点として特色あるまちづくりを考えたい。さらには、このエリアをスポーツ、医療、そして温泉と連携し、佐賀県、あるいは小城市のスポーツの拠点として特色あるまちづくりを考えたい。

答 (市長) アイルがあつて、すばらしい医療施設があつて、そしてスポーツの施設もあるわけだ、そういったところが複合的にしっかりと連携をとることによって、あそこはしっかりと生かせるような拠点になるのではと思つています。ですから、これは行政だけでやれることでもないと思つている。やはり民間と行政と医療も含めて、しっかりと連携をとつた中で拠点づくりができれば、すばらしい小城市の拠点になる。



▲市長が資源磨きを考えるアイルとその周辺



▲緊急車両が進めない市道永田一弁財線

④大豆、麦等の緊急整備事業は。
①異業種と連携をし農水産の加工や販売、特産品の開発等、農業の六次産業化に力を入れたい水路工事、暗渠排水事業を図りたい。②今年1月にアンケートを集約2月検討委員会ですランを決。見直しも含めて進んでいく。
③3年間で小城牛津150ha三日月150ha芦刈150ha取り組む。④土壌改良資材の

購入など26年産の麦作に間にあうように再生協議会で県とJAで協議していく。
緊急車両が進入できない市道は。
①大変不便な道路と認識しており、地元の方々と現場を見て、どのような改良があるか最少の経費で最大の効果のある事業となるよう検討する。

緊急車両が進入できない市道は。
①24年度基本設計を終え、25年度実施設計に。和の町並み景観の提案である。若手商業者の方達で協議中
②下水道管の工事後実施
③鯖岡地区の景観形成ガイドラインの作成予定
④全面的に舗装の改修を今年度行っていく。

①(仮称) まちなか市民交流プラザ整備事業の進捗状況。小京都小城のイメージで和風の話し。受け入れ管理運営会社は。②エリア内3路線のカラー舗装は。③エリア内鯖岡小路景観まちづくりは。④小城中学校正門前の道路舗装は。

災害時避難所は、数か所指定してある。市内に福祉避難所が1か所もない。早急に整備すべきでは。

県内2か所の活断層。福祉施設の充実(健康福祉日本一を目指すまちづくり)は

棟が福祉避難所に指定となった。
その他の質問
○3選江里口市長の方針

今年度、防災会議等が開かれ、小城・三日月・芦刈の保健福祉センター、牛津の旧議会



▲市民交流プラザ(仮称) 建設のため解体が進む旧小城市庁舎



平野 泰造

三期目を迎えて 農業振興の考えは

市長
六次産業化と
基盤整備に取り組む

農業の振興について
①三期目を迎えての市長の考えは。②人・農地プランの現状と今後は。③暗渠排水について。

(市長) ①異業種と連携をし農水産の加工や販売、特産品の開発等、農業の六次産業化に力を入れたい水路工事、暗渠排水事業を図りたい。②今年1月にアンケートを集約2月検討委員会ですランを決。見直しも含めて進んでいく。
③3年間で小城牛津150ha三日月150ha芦刈150ha取り組む。④土壌改良資材の



堤 克彦

中心市街地 活性化事業について

市長
平成26年度までの事業で完成

緊急車両が進入できない市道は。
①24年度基本設計を終え、25年度実施設計に。和の町並み景観の提案である。若手商業者の方達で協議中
②下水道管の工事後実施
③鯖岡地区の景観形成ガイドラインの作成予定
④全面的に舗装の改修を今年度行っていく。

災害時避難所は、数か所指定してある。市内に福祉避難所が1か所もない。早急に整備すべきでは。

県内2か所の活断層。福祉施設の充実(健康福祉日本一を目指すまちづくり)は

棟が福祉避難所に指定となった。
その他の質問
○3選江里口市長の方針



北島 文孝

JAビバレッジの 跡地利用は

市長 清算金として
金銭的な解決の方法も有る

問 昭和50年旧小城市と佐賀県園芸連との間に小城市の持ち分9,457㎡について、議会の議決をへて無償で譲渡されているが、契約書の中で農産物の加工場以外に使用する場合は、この土地は無条件で返還しなければならぬとあるが、この契約書は現在も有効か。

答 (市長) 法律的に現在も有効である。

問 今後JA側より農産物以外に利用したいとの申し入れがあれば、どのように対応するのか。

答 (副市長) 弁護士との話し合いの中で清算金などの名目で金銭的な解決が合法的ではないかとの意見もある。

○選挙の投票時間短縮について
○公共施設の喫煙所について

その他の質問

問 この土地については旧小城市時代より、何回も議会の議決をへて現在に至っている。この問題については筋を通して一旦小城市に返還してもらって、議会の判断をへて処理すべきではないか。

答 (市長) 色々な方法があるが先方としっかり交渉して議会に経緯、経過は報告していく。



▲今後どうなる、ビバレッジ跡地



上瀧 政登

小城市・多久 クリーンセンター建設

市長 平成31年に供用開始

問 小城市・多久広域クリンセンター(塵介処理場)の建設はいつ頃から供用開始になるのか、また佐城地区での広域化の計画と附帯施設をどうするのか。

答 (市長) 今年度4月より多久市役所内に事務組合設置のために専任職員を配置し平成31年に供用開始できるように計画を作成した。県の塵介処理場計画によれば、

佐賀市、小城市、多久市のゴミは一か所で処理するとありこれまた平成31年を目標とある。しかしまず小城市・多久で処理場を建設してその後最大限伸ばしていくながら



▲建設が予定されている場所

新幹線西九州ルート

問 新幹線西九州ルートを推進した佐賀県は沿線住民に対して騒音、踏切等の負担軽減策を持っているか。

答 (市長) 県としては課題の整理を踏まえ不安解消を図るために沿線市町と協議を重ねる。



下村 仁司

城下町小川の河川、 水の浄化を

市長

清水川の名水百選の水を下流へ
どんどん流すのが一番と思う

問 成富兵庫の治水に
よって清水川から街
中を流し小城公園の池に
水を運び、きれいな水で
あったからこそ、桜の名
所小城公園であったと思
う。

中活三事業の目的達成
にはプラス河川・池の水
の浄化が一番ではないか。

答 (市長) 機械やパイ
オで浄化したが流さ
ないと滞留して汚れる。
水利権の問題もあるが
住んでいる水路はきれい
という体制で取り組める
よう検証する。

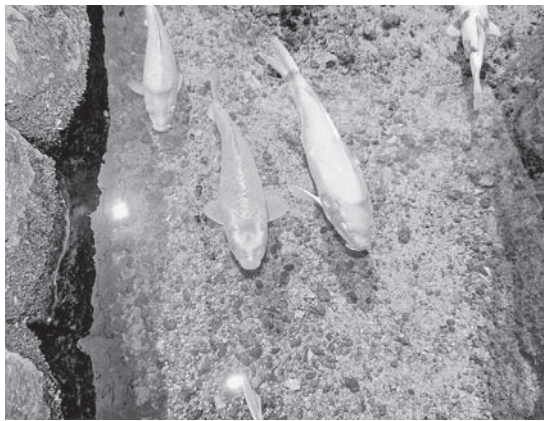
問 牛津庁舎は解体、芦
刈庁舎はどうされる
か。

答 (市長) 解体し、駐
車場と考えている。

問 有明沿岸道、江北青
刈線開通後の企業誘
致活動はされているか。

答 (市長) 蛍の郷ファ
クトリー
パークへの企
業誘致を3期
目の課題とし
て力を入れて
いる。芦刈は、
土地利用計画
策定中でのど
の地域を開発地
域とするのか
策定できるよ
うしていきた
い。

新道開通によって交
通利便性が良くなっ
た利点をPRして企業誘
致活動すべきではない
か。砥川や三里も良さを
PRして小城市が均衡あ
る発展をするようお願い
します。



▲鯉の泳ぐ城下町



西 正博

通学路の危険14か所の 対策状況は

市長

9か所が対策済みだが、
未着手分も要望をする

問 三日月小学校周辺の
危険性の高い通学道
路や、地域住民の農作業
や生活に支障がある道
路、また、構造上、草が
生い茂りやすい部分のあ
る道路などについて、事
故につながる前に、なる

べく早く、何らかの施策
を、要すると思われるが。

答 (市長) 三日月幼稚
園の西南の角は、南
北道路の歩道から、小学
校体育館方向へ行く道路
の歩道に直接渡れる方向
で横断歩道の
対応を公安へ
要望する。中
学校北の佐織
三ヶ島線は、
30キロ規制を
検討中だ。中
学校体育館北
の車両通行時
の金属音の発
生は、グレー
チングに騒音
を発しない工
法を検討し対

▲三日月幼稚園南西角の交差点、改良が急がれる



その他の質問

三ヶ島深町線の車両往来
に危険のある電柱数本に
ついては、動かせるか確
認する。緑三ヶ島四条線
が不定期に夕方頃、通行
量が増え支障があるとの
指摘は、危険性の状況を
見て考える。

○胃ガン対策への施策に
ついて

○市民病院で人工透析は



樋渡 邦美

三日月中学校運動場は狭すぎる

教育長

学校施設整備計画を策定し改善を図りたい

問 三日月中学校の運動場は市内中学校（小城・牛津・芦刈）の生徒1人当たりの面積を比較すると約49㎡に対し三日月中学校は約19㎡と非常に狭いが。

一つもない。

教育委員会としては子どもたちの通学路に対してどのような見解をお持ちか。

答（教育長）明らかに三日月中学校運動場においては課題を持っている。そういう点で何とか改善を図りたいというふうな気持ちでいる。

答

（教育長）通学路につきましましては一つの基本目標、基本方針それから施策ということである。家庭や地域との連携

問 三日月小学校友会が2012年度通学路調査結果報告書を発行されているが感想は。

答（市長）財政見通しを作成し、後期基本計画の振興管理、事務事業評価と連携し、優先順位などに応じた予算編成方法へシフトしていくなど、予算編成方法の抜本的な見直しも行っていく。

答（教育長）この報告書を読ませていただき、このような活動をしつかり支援していかなければならぬし非常に感動した。

強化安全対策の推進、子どもたちの安全を守ることは学校教育の基本的な重要課題である。

答（市長）財政見通しを作成し、後期基本計画の振興管理、事務事業評価と連携し、優先順位などに応じた予算編成方法へシフトしていくなど、予算編成方法の抜本的な見直しも行っていく。

答（市長）大変起債がふえてきているのは事実だが、他の自治体に比べると、大変な事態にはなっていないという状況ではない。

問 教育振興基本計画の中に通学路に対する文言がある



▲三日月小学校通学路調査結果報告書

その他の質問

○今後4年間のまちづくりの施策は



合瀬 健一

市の財政は健全か

市長

事業の見直し等で、予算を縮減する

問 平成27年度より交付税が減額され、最終的には18億円減額される予定である。将来に向けてどのような予算編成をされるのか。

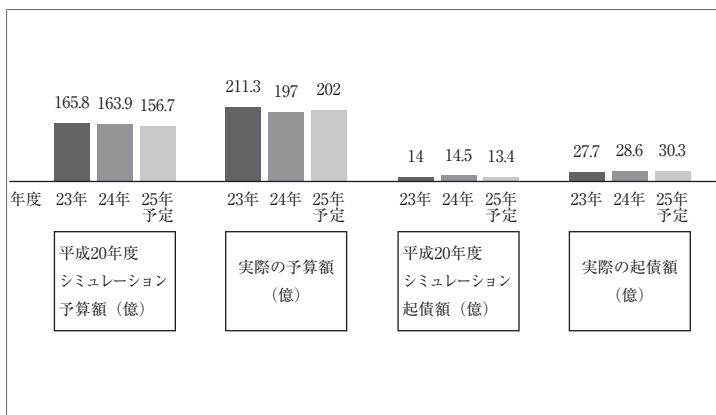
起債の残高も約40億円超過している。この状態が続けば、市の財政はもたなくなると思うが、市長はどのように考えるか。

いうことに尽きる。シミュレーションしながら年次計画を立てていくことも努力義務である。

答（市長）大変起債がふえてきているのは事実だが、他の自治体に比べると、大変な事態にはなっていないという状況ではない。

問 平成20年6月に作成された財政シミュレーションによると、25年度当初予算で45億円の超過、また市債は約17億円の超過となっている。

改革プラン等を実行しながら事業の見直し等を行っていかないと予算を縮減するかと



▲20年度財政シミュレーションとの比較



松尾 義幸

アイルに特別力を入れるのは

市長
スポーツ、医療・温泉の
連携が私の夢、目標

問 アイル津の里温泉に
ついて、①所信表明
の資源磨きとは。②官と
民が一体となった取り組
みは。③家族風呂の設置
は。④食堂の開設見通し
は。⑤温泉センターへの
移行は。

できるか構想をしっかりと
練り上げたい。④⑤アイ
ル単体よりも、全体的な
構想の中で家族風呂の必
要性、温泉センターの移
行の必要性をしっかりと
はかっていく。

答 (市長) ①

アイル周辺
のスポーツ、医
療・温泉を連携
し、福祉・観光、
生涯学習の特色
あるまちづくり
の拠点にした
い。②産業官一
体の連携で資源
磨きができれば
よい。私の夢・
目標のため何が



▲10年続く「結(ゆい)いの心を届ける湯送便(ゆそうびん)」

問 一人でできるボラン
ティアを考え、「結
の心を届ける湯送便」を
週1回始め、現在522
回配達している。市長が
アイルに力を入れるな
ら、職員一人一人にアイ
ルの利用を促して、平成
25年は、みんなで力を合
わせる機運づくりにした
らどうか。

一人ですべてをやらせ
ないで、市民一人一人が
できることをやらせたい。
ボランティアを呼び出し、
「結の心を届ける湯送便」
を週1回始め、現在522
回配達している。市長が
アイルに力を入れるな
ら、職員一人一人にアイ
ルの利用を促して、平成
25年は、みんなで力を合
わせる機運づくりにした
らどうか。

答 (市長) 職員のみ
など夢・目標を共有
していきたい。

していきたい。

その他の質問

○JAビバレッジ跡地に
ついて

○まちなか市民交流プラ
ザについて



大坪 徳廣

住みよい まちづくりについて

市長
定住人口を
いかにふやすかが課題

問 人口の減少から見
小城市について、合
併当初から700人以上
の減少が見られる。これ
をどう思われるか。

(市長) 一次産業・
二次産業が大変減に
なって、地場産業、特に
一次産業は市の基幹産業
でもあり、六次産業化に
向けて研修など押し進め
ている企業誘致について
も率先してPR活動を続
けていく。

答 (市長) 人口減少に
よる課題は地域経済
の衰退、税の減少、地域
の活力や賑わいが失われ地
域の元気がなくなってく
る。定住促進の事業など
人口減少に歯どめがか
かっていないが小城市の
場合、世帯数は逆にふえ
てきている。

(市長) 一次産業・
二次産業が大変減に
なって、地場産業、特に
一次産業は市の基幹産業
でもあり、六次産業化に
向けて研修など押し進め
ている企業誘致について
も率先してPR活動を続
けていく。

問 小京都小
城につい

て小城の城下
町、牛津の宿場
町、この中心市
街地の求心力
の低下が感じ
られるがこの
浮揚策として
条里制の導入
は。

問 産業構造について、
事業所数の減少、一
次・二次の地場産業の落
ち込みが目立つがこの対
策は。

みんなで
小城市に住もう!!





富永 正樹

柳生新陰流資料の 購入と利活用は

市長

まず所有者と文化課との協議をしっかりとやる

問 柳生宗矩より拝領した新陰流古文書を含む約3千点の資料を所有者より購入し、年度計画を立て調査整理をしながら、逐次一般公開をしていくべきではないか。

文化財予備軍への対応について

答 市内にある文化財の予備軍（文化財指定になる前のもの）をしっかりと残す手だてを講ずるべきではないか。

問 市内にある文化財の予備軍（文化財指定になる前のもの）をしっかりと残す手だてを講ずるべきではないか。

答 （教育長） 今後は歴史どうしなどをつなぎ、文化財保護審議会などに諮りながら未指定のものについては光を当てていくべきだ。

答 （市長） 小城でしっかりと守り伝えて小城の起爆剤になるようなやり方をすべきだと思うが、個人所有のものなので、所有者の方の意向も大事でしっかりお聞きし、どこまで購入するのか程度もあるの、県や国に相談しながらこれを守り、小城発の全国に伝える資料にできればと思う。



▲流出の恐れのある柳生新陰流関係資料の一部

JABバラレッジ跡地について

問 小城市の土地は、契約書にのっとり一度返還して白紙に戻し、賢明な市民の英知を結集してどのような絵を描くのか取り組んでほしい。

答 （市長） J Aと相談し、方法論については議会にも説明をしていく。

問 アベノミクスで物価は高騰、今の現状で市民はどのように生活していけばいいのか。市民の安全、安心は金のかからない生活。そんな市政を望んでいるのでは。

答 （市長） 現在いろんな形で、円が安くなったり株が上がったり下がったり、まだ安定していない。日本経済というか景気は少しはいい方向になってきているのかと思っている。これからデフレからどれだけ脱却できるか、これからの状況を我々もよく見ていかなければならない。



樋渡 利光

住民の生活は 苦しくなっている

市長

現在いろんな形で、円が安くなっている

定住促進事業について

問 定住人口増加と人口流出防止を目的として、市内外から市内の対象地域に転入または転移した場合は定住奨励金、持ち家奨励金を交付する事業で、24年・25年・26年と3年間で終わるが、継続の必要性があるのでは。またシングルマザーシエアハウスの導入は。

答 （市長） 三里、砥川、芦刈地区については定住促進をするかとい

うことだが、まず土地利用計画方針を策定、この地域に開発、定住できるのか、場所や地域の選定をし地元の方々と協議が必要と思う。シエアハウスは小城市の中で当てはまるのか。

答 （市長） 三里、砥川、芦刈地区については定住促進をするかとい



▲全校児童数56人の三里小



▲加速化・林業再生事業による森林整備

林業については、森林施業の効率化、森林の持つ多面的な機能の高度発揮に向け、森林組合を中心とした体制整備を進め、森林所有者との協働体制を構築しながら国、県の事業を活用した森林施業の

問 農林水産業における今後の取り組みは。

答 (市長) まず農業は社会経済情勢の変化に伴い、従事者の兼業化、高齢化そして後継者不足

も深刻化している。特に後継者不足や耕作放棄地は中山間地区に多く見られ、これについては国の事業等を活用しながら、活力ある農業と農村の活性化に努めていく。



光岡 実

市長 環境整備、資本整備をしっかりとやっていく

農林水産業の今後の取り組みは

推進をしていく。また、水産業については、関係機関との連携のもと、指導、支援体制の整備を図り、ノリ養殖業と漁船漁業を組み合わせた周年漁業体制の確立を基本に、生産性の向上や経営の安定化に取り組んでいく。なお、各種事業を実施するため、小城市産地協議会を設立した。とにか、産業面では環境整備、資本整備等をしっかりとやっていく。

また、水産業については、関係機関との連携のもと、指導、支援体制の整備を図り、ノリ養殖業と漁船漁業を組み合わせた周年漁業体制の確立を基本に、生産性の向上や経営の安定化に取り組んでいく。なお、各種事業を実施するため、小城市産地協議会を設立した。とにか、産業面では環境整備、資本整備等をしっかりとやっていく。

その他の質問

○空き家・廃屋対策は
○原野化している農地対策は



中島 正樹

教育長 待機児童の解消に努め計画的な整備を行う

放課後児童クラブの計画的整備を

問 市における放課後児童クラブの状況と利用者の意見等の反映を含めた今後の方向性はどうか。

答 (教育長) 市内の児童数は減少傾向にあるがクラブへの入級希望者は年々増加傾向にある中で現在待機児童の発生には至っていない。意見・要望等については4月1日からの預かりや振替休日の預かり、時間延長等の意見要望が出ており子育て支援策などの充実を図ることは特に必要だと考える。まずは待機児童の発生が懸念される桜岡、牛津についてそれぞれ1クラブ定数40人を

問 2015年度までの市町村での条例化に向けた対応はどうか。

答 (教育長) 国からの指示で事業計画策定を行うこととなる。本年度から策定のための会議を立ち上げて準備を行

その他の質問
○健康・福祉日本一を目指すまちについて



▲放課後児童クラブでの模様